



や 竜 哉 藤 衛

質 東日本大震災の復旧・復興を考えるに、ライフラインの早期復旧その確保が最重要です。市民が安心安全に生活するために現在の状況、そして、一朝有事の時の対応は。

答 市長 現状、市内に13水道事業があります。大規模な災害が発生した場合、ライフラインである水道や下水道につきましても地域防災計画に基づき、早期の復旧を図ります。

また、上・下水道の維持管理につきまして、行政改革を進める中で職員の削減が大きな課題となっていますが、ライフラインが機能しないような状況にはできないので、確実な維持・管理ができる体制をとれるように、再度検討していきます。さらに、施設の老朽化に伴う、平成21年に策定した「豊後大野市水道ビジョン」に基づき、老朽施設の更新、補強事業、配水管整備事業を計画的に進めていきます。



簡易水道浄水場（千歳町）



質 東日本大震災の影響で、空き家などの情報を求める方が増えている。空き家調査の状況と情報発信、相談、受付などはできているのか。

空き家情報の発信、相談受付は

～定期的に新しい情報に更新していきます～



答 企画部長 平成21年度・平成22年度に市内の空き家調査を実施しました。空き家物件は677件、その内利用可能な物件は85件でした。今後は、双方がトラブルを生じないように実施要綱を整備し、市のホームページなどを通じて市内外に情報の発信を行うとともに、定期的に空き家調査を行い、市内への定住促進を図ってまいります。

里道の維持・管理

～軽易な補修は行政区で～



あか 嶺 謙 二

質 市内にある里道の箇所数、危険箇所数は。

答 市長 各町の合計で里道は4万5125件、水路は1万4115件あります。

また、危険箇所の把握については、「豊後大野市災害危機予想箇所一覧」によって行っており、合計476箇所ございます。



地域にある法定外公共物(水路・里道)

質 基本は利用者や行政区だが、防災の観点から手のつけられない危険箇所は、市で維持・管理すべきでは。

答 市長 「豊後大野市法定外公共物の管理に関する条例」では、第17条で「管理者は市長」、「法定外公共物のある行政区は、軽易な維持・管理および補修」と規定され、協力するものとしています。地域担当者制度を通じて、生コンの原材料支給や重機借上料を予算化しました。

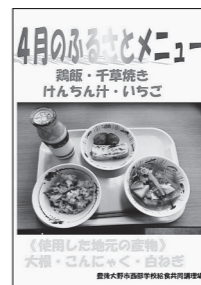
引き続き、危険箇所につきましては、防災の観点からも里道・水路も含めて、適宜対応してまいります。

質 維持管理費の本年度予算は、24万6000円となっているが、防災計画の一環として増額すべきでは。

答 市長 市内で、法定外公共物は約6万箇所あり、全ての箇所の維持管理および補修は困難であります。

ふるさと給食の充実を

～ケーブルテレビを活用～



答 教育長 毎月19日に実施しています。今後は、生産者との交流をより深めるために、ケーブルテレビの活用なども考えています。